

「木材強度・木質構造研究会 ―木材利用のための強度学―」開催案内
森拓郎（京都大学生存圏研究所）

2014年12月12日（金）10：30-15：30

場所：未定（東京）

参加費およびランチ費用：未定

タイトル：木材利用のための強度学（Mechanics of Wood for Utilization）

内容：木質構造の急速な発展、国内外の資源問題や環境問題を背景に、世界的に木材利用の推進が求められている。木材力学は、その木材という極めて特徴的な材料を力学的に説明しようとする、古くて新しい学問・研究領域である。本シンポジウムでは、現在の木材力学を代表する講師陣をお招きし、それぞれの知見を基礎から応用まで解説して頂くと共に、近日中に出版予定である「(仮称) 木材・木質材料の力学的基礎」の意義・活用方法についても討論する予定である。なお、本会ではランチを挟み実施する予定である。

中村昇（秋田県立大学）：木材力学教育に関する問題提起「なぜ、この教科書が必要か」

吉原浩（島根大学）：木材の強度試験（直交異方性の評価、せん断など）あるいは破壊クライテリア（仮）

村田功二（京都大学）：木材における破壊力学（仮）

佐々木康寿（名古屋大学）：時間を考慮した木材の破壊強度（反応速度論の適用） 疲労試験から DOL の推定へ（仮）

古田裕三（京都府立大学）：木材の力学性能に及ぼす水と熱の影響（仮）

参加ご希望の方は、お弁当の予約の都合のため、12月1日（月）までに、下記連絡先までにご連絡をください。

連絡先：青木謙治 aoken@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp